

令和4年度第3回ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方検討会議 議事録

期日：令和5年1月30日（月）

場所：各所属（テレビ会議システム）

1 開 会

2 報 告

(1) 実践研究校による研究報告

ア 県立むこがわ特別支援学校

イ 県立姫路しらさぎ特別支援学校

(2) 事業全体報告

(3) 質疑応答

3 協 議

ICT活用を活用した自立活動の指導に関する情報の一元化をめざした
「ひょうごつながるe-ブック（仮称）」について

○表面に具体的な情報を載せていることで、興味のある方々の目に止まる
よう工夫されており、入口として入りやすくなっている。

○チラシとホームページのトップを同じ内容にすれば、統一感があってよ
い。

○表紙について、レイアウト及び内容はとてもよいが、自立活動やICT活用
等の専門用語、また吹き出しの色分けの分類についてすぐには理解がで
きず、説明を聞いて理解ができた。自立活動やICT活用等について、表に
まとめてあれば見やすく分かりやすい。興味を惹きつけられるような表
紙になれば、より活用されるきっかけになる。

○裏面では、「学びたい」とか「使いたい」等、キーワードによる色分け
になっているが、色分けの分類が表面の吹き出しの色分けと異なってい
ることが統一感に欠ける。例えば、相談のところは裏面では緑色で丸く
なっていて白抜きになっているが、表向きの吹き出しはオレンジ色にな
っている。色分けするのであれば、統一は必要である。

○色分けにより何に分類されているのか、表面でははっきりと分かる工夫が
必要である。しかしながら、表面の吹き出しを見て、保護者が疑問に感

じていることや、学校が取り組んでいる内容について共有することができ、安心できる材料になる。

○裏面の下段にある「自立活動とは？」の説明の中に、身近自立に関する内容についても載せてほしい。また、具体的な手段や成果についての説明もあれば、より分かりやすくなるのではと感じている。

○チラシは教員を対象に作られており、ICT活用や自立活動の実施において教員にとって使いやすいこと、あるいは困っている教員が活用できるよう整理されていること、そして、活用する教員がやってみようと思える表紙になっていることが重要である。裏面については、下段に載せている自立活動の定義について、教員は当然理解している内容である。対象を教員と保護者の両方に設定することは、構成上難しい。教員向けと保護者向けの内容を、分けて作成すべきである。

○吹き出しには教員の特別支援学級担任になったことへの不安も載せているが、教員の相談のためのブックとして誤認されてしまうことも考えられる。趣旨である自立活動及びICT活用についてのブックであることを明確に示す必要がある。

○この「ひょうごつながるe-ブック」が、ICTのことなのか、自立活動のことなのか分かりにくい。一見してイメージできるようなキャッチコピーが欲しい。

○校内の回覧で回ってきた際に、すぐに回されてしまわないような、読み手の興味を惹きつけるブックをいかに作るかということが重要である。いかに目に止めてもらえるかということは、情報を正しく伝えることと同じくらい大切だと考えている。情報の載せ方、特に表面について、例えば絵や漫画等を載せて、この吹き出しも一つに絞り裏面に移動させる、裏面にあったものはホームページに移動させる等、極力情報を少なくす

るために大きく削る勇気が必要である。そして、目的を分かりやすく、かつインパクトを強く示すことが大切である。チラシに掲載する情報をいかに少なくし、ホームページへの誘導をうまく示すことができるかに、ポイントを絞って考えるべきである。

○インパクトのある文言とともに、文字のフォントサイズも適度に大きくすると、より伝わりやすい。

○誘導したホームページのトップも、情報量を少なくするとよい。

○特別支援学級の教員一人一人が工夫しながら教えている。自立活動についてチェックすると具体的な内容につながると手本にできれば、教員も安心できると思う。

○教員が自立活動についてしっかりと理解していることを基本として、その上でのICT活用であり、e-ブックの活用につなげることができる。学校現場では自立活動について研修等を通して教員の理解をさらに深めていきながら、本ツールがより活用できるように進めていく。

○本ツールを活用できる方々の多くは特別支援学校の教員だと思うが、実は小学校、中学校の通常の学級や特別支援学級の教員もかなり多くいると考えている。また、特別支援学級の教員は短い期間で担任が代わることが多く、毎年初めて特別支援学級を担当する教員もいる。そのため自立活動についての理解が浅い教員も含めて多くの教員が活用できる、という観点が必要である。